

佐賀県で初めて確認されたオオモズ (スズメ目モズ科) について

宮 崎 八州雄¹⁾

The first record of *Lanius excubitor* in Saga Prefecture, Kyushu, Japan

Yasuo MIYAZAKI¹⁾

I. オオモズについて

オオモズ *Lanius excubitor* は、ユーラシア大陸北部、北米大陸北部等で繁殖し、北方のものは冬季、やや南下する。日本には数少ない冬鳥として北海道から本州中部に渡来し、九州でも記録がある（五百沢・山形 2014）。

日本鳥類学会（2012）ではIVとされ、筆者も福岡県新宮町の相ノ島と長崎県諫早市で観察している（未発表）が、佐賀県では未記録であった（日本鳥学会2012）。

筆者らは2020年2月から3月にかけて、三養基郡みやき町で観察・撮影したので報告する。

II. 確認記録

- ① 確認年月日 2020年2月4日～3月10日
- ② 確認場所 佐賀県三養基郡みやき町中原
(5030-0315)
- ③ 個体数 1 個体
- ④ 行動等

加藤芳隆氏が2月4日に農耕地に飛来したのを発見し、筆者も2月8日から3月1日の間に同地で観



図1. オオモズ



図2. 小鳥を食べるオオモズ 図3. 小鳥を飲み込んだオオモズ

察、撮影した（図1）。

この個体の下面には非常に細かい横斑が認められたので、若い個体と思われる。行動範囲は広く、カワラヒワ等を追うのが見られ、3月1日にはメジロと思われる小鳥を捕え、木の枝に掛けて引きちぎって食べていた（図2、3）。

2月15日には電線に止まって鳴く声も聞かれ、ブキツという、白石町で聞いたオオカラモズ *L. sphenocercus* に似た声（宮崎 2002）や、ブーンというカワラヒワのような声も出した。

末筆ながら、本種の情報を頂いた加藤氏に厚く感謝申し上げます。

文 献

- 五百沢日丸・山形則男 2014. ネイチャーガイド新訂 日本の鳥550山野の鳥. 文一総合出版, 東京.
宮崎八州雄 2002. オオカラモズの発した声の記録. 佐賀自然史研究(8). pp66. 佐賀自然史研究会.

¹⁾ 〒849-1311 鹿島市大字高津原1983-4